

「診療所から病院への入院の手配が簡単にできる。」211カ所、「地域の医療機関情報が入手しやすくなる。」105カ所であった。病院にとってのメリットは、「予約診療によって、患者の集中する時間帯を平均化することができ、この結果、医事業務を遅滞なくこなすことができる。」111カ所であった。

(4) 具体的な医療連携

具体的な医療連携に関しては、「紹介・逆紹介」257ヶ所、「かかりつけ医から高度医療機関への連携と機能分担」155カ所、「高度・高額医療機器の共同利用」136カ所、「研修会・症例検討会等の教育」108カ所、「連携病床」85カ所、「医療機関情報の共有化」82カ所であった。

(5) 医療連携の推進

医療連携を推進するために必要なことに関しては、「病診間の信頼関係の確立に努める」148カ所、「かかりつけ医機能の充実を図る」81ヶ所、「医療連携を推進するための協議組織を作る」79ヶ所、「医師会員に医療連携の必要性をPRする。」79カ所、「医師会その他適当な場所に医療連携室を設置し専任職員を置く」74カ所、「医療機関情報の共有化」71カ所、「医療連携に関する住民へのPRを行政に依頼する。」69カ所であった。

(6) かかりつけ医機能と医療連携

かかりつけ医機能を充実させ、医療機能連携システムを推進するために必要なことに関しては、「各地区医師会」227カ所、「各地区医師会の会員一人一人」199カ所、「東京都あるいは各市区町村の行政組織」188カ所であった。

D. 考察

今回の実態調査結果の分析により、かかりつけ医の役割、かかりつけ医が現状において困っている内容、地域住

民がかかりつけ医に対して期待している内容についての認識と理解の程度が、各市の医療機関により差があることが明らかとなった。それと共に、医療連携の必要性、医療連携室の必要性、医療連携のメリット、医療連携のイメージといった医療連携に関する事柄についても、同様に、各市の医療機関により差があることが明らかとなった。

医療機能連携は、かかりつけ医の役割を推進する上での支援をする1つの方法であり、医療機能連携が先にあって、かかりつけ医機能がその後にあるわけではない。医療機能連携といった言葉をまず使用するのではなく、かかりつけ医機能の重要な1つである、患者の入院依頼、専門外来依頼、検査依頼といった患者への医療機関の紹介を今まで以上に行い易くするための方法の1つが、医療連携であることから示し、かかりつけ医に理解してもらう地道な努力が必要である。

地域医療の担い手である診療所、病院のかかりつけ医が、その役割を果たす上で、困っている現況、あるいは地域住民がかかりつけ医に期待していることを、かかりつけ医がより行い易くするための方法が求められている状況を把握した上で、それを支援する方法の1つが医療連携であることを説明し、認識、理解してもらうための工夫から始めていかなければならない。

E. 結論

2次医療圏内の医療機関での医療連携の広域化に関する捉え方および情報の整備状況には、かなりの違いが認められた。

今後は、医療機関における医療連携に対する理解を高めるための工夫を続けていくことが重要であると共に、医療情報の整備を進め地域住民への適切な情報の開示を検討していくことが必要である。

健康情報、健診時の検査結果等の基本情報との連携も含めた医療機関の情報整備を推進することが必要であることが明らかとなった。

脳卒中などの疾病再発予防システムを構築するためには、地域の医療連携の推進を図ると共に、医療機関情報の把握は組織的な展開、各機関の役割分担の明確化と実践、紹介・逆紹介の実施、連携の広域化及び連携に必要な情報の公開と活用などがシステム構築のために不可欠と考える。

今後、2次医療圏における医療機関の医療連携の広域化並びに疾病再発予防システムに関する方法論を確立することが急務である。

F. 研究発表

1. 信川益明：地域医療とネットワーク. Therapeutic Research 21(10), 2420-2427, 2000.
2. 信川益明、稲田紘、関田康慶：2次医療圏における保健医療福祉の連携システム構築の方法論と評価に関する研究—医療連携の広域化に関する実態調査—. 医療情報学 20 Supple. 2, 704-705, 2000.
3. 信川益明：二次医療圏での医療機能連携システム構築の方法論と評価に関する研究 —連携に必要な医療機関情報について—. 日本プライマリ・ケア 22 Suppl. 79-79, 1999.

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻名	ページ	出版年
稲田紘、関田康慶	介護保険情報システムに求められるもの	日本ME学会 専門別研究会 「在宅医療と ME技術」研究 会研究報告集	8(3)	1-4	2000
関田康慶、稲田紘、他	介護保険モニタリング情報流通に おけるセキュリティ管理	医療情報学	20(Suppl.2)	784-785	2000
関田康慶、稲田紘、他	モニタリング情報システムの設計 と開発	医療情報学	20(Suppl.2)	792-793	2000
関田康慶、加藤由美、 糟谷昌志、他	新コミュニティの形成による介護 サービスの効率的提供	都市計画227	49(49)	15-20	2000
信川益明	地域医療とネットワーク	Therapeutic Research	21(10)	2420-2427	2000
信川益明、稲田紘、 関田康慶	2次医療圏における保健医療福 祉の連携システム構築の方法論と 評価に関する研究－医療連携の 広域化に関する実態調査－	医療情報学	20	704-705	2000

20000852

以降は雑誌/図書等に掲載された論文となりますので、
P.21の「研究成果の刊行に関する一覧表」をご参照ください。

